

1. コース案内

	初級1		初級2		中級1		高校入試		中級2		上級1		上級2		センター入試過去問 2009年から2017年の過去問		理系		文系	
	word数/単元	約40~80 48単元	約80~400 48単元	約200~300 40単元	約200~1000 31単元	約350~600 38単元	約350~450 40単元	約450~800 43単元	約600~800 15単元	約500 20単元	約500 20単元									
難易度 CEFR/英検	A1	5級~4級	A2	4級~3級	A2	3級		A2	3級~準2級	A2~B1	準2級	B1	準2級~2級	B1	2級	B1~B2	2級~準1級	B1~B2	2級~準1級	
小学生	→																			
中学1年生	→																			
中学2年生	→						受験レベルによって、高校入試か中級2を選択ください。													
中学3年生	→																			
高校1年生																				
高校2年生																				
高校3年生																受験校によって、上級2（センター過去問、理系・文系）選択ください。				

2018年春NEW! TOEICテスト対策コースもご用意しています

TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This web page is not endorsed or approved by ETS.
※ L&R means LISTENING AND READING.

2. 受講目安

多読要素を取り入れた学習法は、最低2年継続することが必要といわれています。まずは自分のレベルよりワンランク落としからの学習をはじめることをおすすめします。

語彙力・表現力が身につく豊富なコース 論文・エッセイ・会話文など様々な文章パターンで表現力を身につけましょう。

コース	英検目安	単元数	内容
初級1	英検5~4級	48	短くてやさしい文章なので中学1年生におすすめ
初級2	英検4~3級	48	日常会話や物語文など、読むのが楽しくなるコンテンツ
中級1	英検3級	40	説明文、エッセイ、手紙文など、高校入試で出題される形式
高校入試対策	英検4~3級	31	入試直前の中学3年生におすすめ
中級2	英検3~準2級	38	より実践的に、実際に入試で使われた問題も収録
上級1	英検準2級	40	論文、会話文、WEB文章など、昨今の大学入試の形式にあわせた長文問題
上級2	英検準2~2級	43	文化や社会など入試に出やすい長文、センター試験過去問も収録
センター試験入試過去問	英検準2~2級	15	2009~2017年の本試・追試を合わせたセンター試験過去問
大学入試 理系	英検2~準1級	20	理系向け問題
大学入試 文系	英検2~準1級	20	文系向け問題

中学生におすすめ

高校生におすすめ

全て音声つきが嬉しい!

3. 受講プラン例

※トレーニングの流れ40分or60分をご覧ください。

	小学校高学年・中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
上位 (偏差値60以上)	初級1 トレーニングを一通り行い、さらにシャドーイング、ディクテーションも重点的に行っていきましょう。	初級2/中級1 スムーズに進むのなら徐々にレベルアップ。様々な文章に慣れておきましょう。シャドーイング、ディクテーションも実践	中級2/高校入試 難関校入試問題も演習すると自信もつきます。シャドーイング、ディクテーションも実践	中級2 いろいろな文章に慣れ、経験を積んでいきましょう。シャドーイング、ディクテーションも実践	上級1 いろいろな文章に慣れ、経験を積んでいきましょう。シャドーイング、ディクテーションも実践	上級2/文系・理系 受験に向け実践的な演習を、目指すは 正解率80%以上、150WPM!
中位 (偏差値50程度)	初級1 正答率80%以上を保持しているかがポイント。さらに力をつけるようシャドーイングも実践!	初級2 正答率80%以上を保持しているかがポイント。さらに力をつけるようシャドーイングも実践!	中級1/高校入試 中級1が終わったら高校入試コースで演習を実践してください。正解率80パーセント以上を保持しているかがポイントになります。	中級1 多読習慣をつけるディクテーションも重点的に行っていきましょう。	中級2 多読習慣をつけるディクテーションも重点的に行っていきましょう。	上級1/上級2 入試問題に近い問題で、 正答率80%以上、120WPM を目指していきましょう。正答率が上がらない場合は、ワンランク落とすことが多読学習のポイントです。
下位 (偏差値40以下)	初級1 初めて英語に触れる生徒には、まずは英文になれることを目標に初級1の20単元を2回繰り返します。 リスニング+音読 ※ディクテーションはさせなくて良い	初級1 簡単な英文を繰り返し行うことで文の構造にも慣れます。今のうちに基礎をしっかりと固めていきましょう。 リスニング+音読 ※ディクテーションはさせなくて良い	初級2 繰り返し行っていけば英語長文読解の力は付いていきます。基本は「実力より易しい文章をたくさん読むこと」です。 リスニング+音読 ※ディクテーションはさせなくて良い	初級2 易しめの文章を繰り返し読むことが力をつけるポイントです。 リスニング+音読、出来る方はシャドーイングも行っていきましょう。	中級1 易しめの文章を繰り返し読むことが力をつけるポイントです。 リスニング+音読、出来る方はシャドーイングも行っていきましょう。	中級2 易しめの文章を繰り返し読むことが力をつけるポイントです。 リスニング+音読、出来る方はシャドーイングも行っていきましょう。